

# 「川畑小学校のお城ヶ山踊り伝承活動の取組」

## 1 学校名

南さつま市立川畑小学校

## 2 学年・人数

小学校3年生から6年生（計30人）

## 3 日時・場所

### （1）練習の日時・場所

平成27年8月26日（水）～28日（金） 川畑地区公民館

平成27年9月12日（土） 川畑小学校体育館

平成27年9月30日（水） 発表前の練習（唄合わせ，川畑小学校校庭）

### （2）発表の日時・場所

平成27年10月4日（日） 川畑小学校・川畑校区秋季大運動会

## 4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能，伝統行事について

### （1）名称

川畑お城ヶ山踊り（かわばたおせろがやまおどり）

### （2）由来

起源由来についてははっきりしていないが，県内においてもいくつかの説がある。薩摩藩が農民たちに棒術やなぎなた，鎌などの手並みを踊りに仕組んで踊らせ，戦時に備えたという説，示現流の剣法を舞踊化したという説，棒や鎌・なぎなたを斜めに打ち合わせるの悪霊・悪魔を撤退させる呪法で，このことから踊りが生まれたという説などである。このほか，ヤボロ（ホコ）や棒あるいはなぎなたで大地を力強く突く動作は，農民たちがその年の豊作を祈願するという農耕儀礼の一つと考えられる。（加世田市史P342より）

### （3）構成等

かまを持った子が2人，なた（柄が長い）を持った子が2人の計4人一組で踊る。唄・踊りは2部構成となっており，1部では唄に合わせ全員で地突きを繰り返す。唄が終わると全員膝を下ろし，「いっど」の一声で2部に移る。2部は，唄に合わせ鎌となたを打ち合いながら激しく踊り，同じ流れの動きを3回繰り返して踊りが終わる。本番では，「ほこ」を先頭に高く掲げ，たすきとはちまき（鎌の踊り手は短いはちまき，なたの踊り手は長いはちまき）をしめる。

## 5 保存会や地域との連携の具体

川畑校区では，昭和46年に「お城ヶ山踊り」保存会を立ち上げ，校区を上げて踊りの伝承活動に取り組んでいる。保存会では，6月から8月にかけて練習し，熊野神社や竹田神社夏祭り等で踊りを披露している。川畑小学校でも保存会から依頼を受け，後継者育成のために15年ほど前から3年生以上の児童が運動会で発表するという形で伝承

活動に取り組んでいる。毎年8月末に、校区の公民館で保存会の方（中学生・高校生が中心）から直接指導を受け、9月も保存会の方（役員・唄者が中心）に来ていただき、細かな指導を受けている。運動会の準備の際には、各集落長が中心となり当日の衣装合わせを行う。このように、保存会を始め地域ぐるみでお城ヶ山踊りを伝承させていこうとする体制が整っている。

## 6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

学校と保存会が連携協力しながらお城ヶ山踊りを継承していくために、保存会のメンバーに校長が加わり、意見交換の場を持っている。また、学校組織の中にお城ヶ山踊り担当者を配置し窓口としている。学校教育活動の中では、踊りの伝承活動を総合的な学習の時間に年間10時間位置付け、昨年度までのビデオ等も参考にしながら練習に取り組んでいる。

保存会の方の直接的な指導に関しては、平日ではなかなか休みが取れない方もいるため、今年度は土曜授業の活動に位置付けた。また、夏季休業中には、将来的に踊りを担っていくであろう高校生・中学生が3日間（全て午前中）踊りを指導する体制を整えた。

保存会が一番苦慮しているのは唄の継承である。現在3名の唄者がいるのだが、高齢化が進んでいるため唄者の育成は急務となっている。そこで、今後は保存会と更に協力しながら、踊りだけでなく唄の継承も学校教育活動の中に取り入れていきたいと考えている。

## 7 取組の様子（練習状況、発表の場等）



公民館での練習風景



土曜授業での練習風景



発表前の練習風景（唄合わせ）



秋季大運動会での発表

## 8 参加児童生徒・保護者・保存会・教員等の感想・意見

### 【3年生児童】

今年初めて踊りましたが、みんなに教えてもらい上手に踊ることができました。

### 【4年生児童】

2年目だったので、踊り方はすぐに思い出しました。4人で息を合わせるのが本当に難しいです。

### 【5年生児童】

保存会の方々の踊り方はさすがだと思いました。もっと練習して誰よりも上手に踊れるようになりたいです。

### 【6年生児童】

お城ヶ山踊りの伝承活動に取り組むことができ嬉しいです。地域に残る伝統文化をしっかりと継承していきたいと思います。

### 【保護者】

「3年生になったら運動会でお城ヶ山踊りが踊れる。」という伝統が根付いているため、3年生は4月当初から楽しみにしています。夏休みには年の近い中学生や高校生が教えてくれるので、めきめき上達しているようです。本番の運動会では、いつも感動させられます。指導に当たっている先生方も大変だと思いますが、保存会の皆さんと協力し、地域の伝統をしっかりと子どもたちに受け継がせてほしいと思っています。

### 【教職員】

保護者や地域の方の練習や運動会本番への関わりから、「ふるさとの郷土芸能であるお城ヶ山踊りを通して、生まれ育っている地域への誇りや愛着を子どもたちに育みたい。」という全員の願いが伝わってきます。これからも保存会の方々と協力しながら、子どもたち一人一人に確実に伝承させ、地域に貢献できればと思っています。

### 【保存会から】

後継者育成のために行ってきた小学校での伝承活動ですが、先生方が熱心に取り組んでくださるので、保存会としても大変助かっています。夏休み後半の練習は地区公民館で行っていますが、担当の先生だけでなく3年以上の全担任が毎回参加し、自主的に指導の協力を行っています。お城ヶ山踊りの伝承活動は、保存会や地域の取組だけでは達成できません。先生方の熱意や指導に支えられて現在の形が出来上がりました。運動会を盛り上げようと、15年間毎年お城ヶ山踊りの練習に関わってくれた多くの先生方に感謝します。

### 【地域の方から】

- ・ 毎年踊りが上手になっていく気がします。小学校のうちに踊った子どもたちが、また大人になって、次の世代に伝えていくきっかけになったらいいと思っています。
- ・ 今年は中学生も何人か踊りに参加していたので、勇壮さを感じました。中学生も含め、この子どもたちが大人になり、今度は保護者や地域住民の一員として後輩たちに受け継いでほしいと願っています。